dArwIn RPA Controller | Product Solution

RPAリモートワーク利用におけるロケーション問題を解決！

昨今の急速なリモートワーク要請に対応するため、ZEINは「AI Package dArwIn※1」のRPAコントローラーの一部機能をパッケージ化することで、「誰もが、どこでも、安全に低コストで」RPAツール※2をリモートで利用することが可能な、「dArwIn RPA Controller（以下dARC）」を提供します。これにより支店、社外、在宅でも本社にいるのと同様にRPAの利用が可能になります。dARCは、RPAツールをリモートワークで利用する際の、「システム導入コスト・導入期間、セキュリティ、多重アクセス」といった課題の解決だけなく、従来の煩雑なロボット起動手順を効率化します。

※1 「ヒト×AI×RPA」をコンセプトにロボットとの会話で業務を自動化する当社パッケージソフト。
従来電話やメールで人にお願いしていたことや、リモートデスクトップで作業していたこと、いちいち帰社して行っていた作業をAIを搭載したチャットボットに作業を依頼することで、AIがRPAへ作業指示・実行管理を行い、業務を自動で完結するヒトとシステムをつなぐ「インテリジェントインターフェース」です。
※2 dARCにてリモート起動が可能なRPAツールは、UiPathおよびWinActorとなります。他ツールにおいては検証が必要となりますので、お問い合わせください。

リモートワークにおけるRPA利用方法と課題

生産性の高い業務を実施するにはリモートワークであってもRPAの利用は欠かせません。しかしデスクトップ型※3 を採用している企業はリモートでのRPAツールの利用はできません。そこで、リモートでもRPAツールを利用するため、リモート対応可能な「サーバ型※4 へ切り替える」、もしくはデスクトップ型を利用したまま、RPAインストール端末にやむなく「リモートデスクトップで接続する」２つの方法がありますが、それぞれ以下のメリット・デメリットがあります。

	メリット	デメリット
サーバ型	✓ リモート起動におけるセキュリティや多重アクセス問題をクリアすることが可能	✓ サーバー型への切り替えは、非常にライセンスが高額なうえ、導入にはコストも期間もかかる。場合によってはロボットの改修が必要
リモートデスクトップ型	✓ リモートデスクトップを利用するため非常に安価で、簡単に導入可能 ✓ 既存ロボットの改修は不要なため、短期間で導入が可能	✓ 機密性の高いデータを扱うロボットは、セキュリティ上リモートでの利用できない ✓ ロボット起動中に複数ユーザがアクセスするとロボットが停止する、または正常に動作しない

※3 UiPath attended robot ／ WinActor ノードロックライセンス（フル機能版/実行版）
※4 UiPath：Orchestrator ／ WinActor: WinDirector・ Manager on Cloud

dArwIn RPA Controllerの特徴

dARCは、社外・自宅どこからでも、現在お使いのロボットを起動することができます。普段の業務と変わらずロボットの起動が自宅でも可能になるため、リモートワークでもRPAをフル活用にすることができます。またリモート起動の問題点を解決すると同時にRPAツール利用業務のさらなる効率化を実現します。

POINT	特徴
コスト・期間	✓ dARCは、買い切りライセンスのためサブスクリプションとは違い、非常に安価に導入できます。また利用するロボットの改修は原則不要なため、余計なコストをかけずに安価で短期間で導入することが可能です。
セキュリティ	✓ 社外から、RPAインストール端末に直接アクセスしなくてよい仕組みのため、機密情報を取り扱うロボットの起動も可能です。尚、RPAインストール端末との利用者端末との通信は暗号化したメールにて行います。※5
ログ管理	✓ dARC経由での起動はすべてログ管理が可能です。起動対象ロボットだけでなく、起動端末情報、利用者、起動時間、実行結果のすべてがログで管理されるため、万が一不正利用された場合も、検知が可能です
多重アクセス 起動管理	✓ dARCがロボット実行管理を行うため、複数ユーザーより同時リクエストがあってもdARCが順次リクエストされた指示を処理していくため、ロボットの誤作動や停止を防ぐことが可能です。 ✓ ロボット起動にあたり、条件設定が必要な場合でも、dARCは起動条件の設定を行うことが可能なため、条件指定起動のロボットであっても問題なく利用することが可能です。※6
Waiting Time	✓ 従来のようにRPAインストール端末まで操作しに行く必要がなくなります。また、ロボットが実行中であっても起動リクエストを送ることができるため、ロボットの処理が完了するまで待機する必要がなくなります。
空きリソースの 有効利用	✓ 複数端末にRPAがインストールされている場合、従来は実行者はどの端末に何のロボットが設置されているかを確認し、利用したいロボットのある端末の利用状況を確認し、ロボットを起動する必要があります。dARCはリソースの空いている端末へ順次実行指示を出すため、実行端末を無駄なく利用することが可能になります。

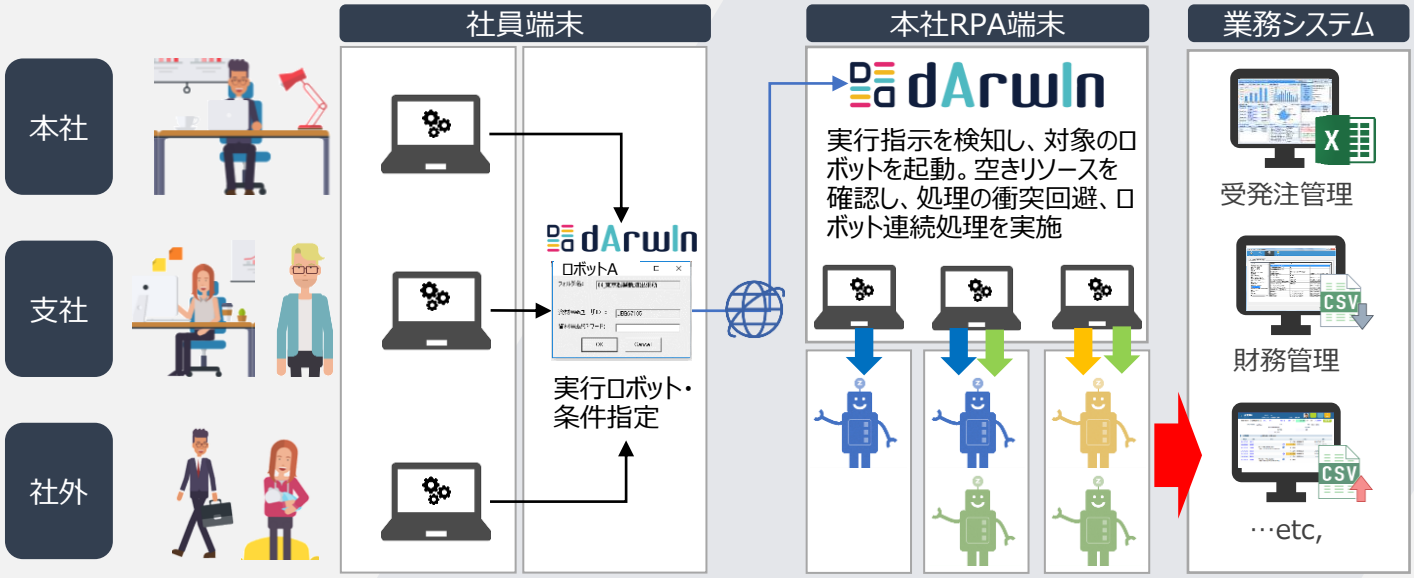
※5 RPAインストール端末は、インターネットに接続できることが前提となります。また常駐アプリがRPAツールを起動するためスクリーンロックはかからないように制御しております。

※6 起動時に条件を設定する必要があるロボットは、一部改修が必要になります。
尚、条件指定起動とは、ロボットが処理するにあたり、ユーザID/PWを必要とする場合などを指します。
本機能は、起動指示の際に、ID/PWなどを設定することが可能です。

導入事例

ケース	大手建設会社　管理ロボット数：10体 • RPAインストール端末は本社のセキュリティルームで管理 • ロボットは機密情報を取り扱っているため、リモートデスクトップの利用は不可 • 本社で利用するロボットは支社でも利用しているが、支社からの端末アクセスは不可 • 支社がRPAを利用する場合は本社へロボット利用申請を行い、本社が起動する • RPA管理強化のためサーバー型への切り替えも検討もしたが、管理ロボット数、コスト、期間を考慮し見送った
課題	• セキュリティルームへの入室⇒対象ロボット利用可能端末の確認⇒端末のロボット実行状況の確認⇒ロボット起動といった手順が非常に非効率であるため、結果従来業務で対応している社員もいる • 利用したい端末がロボット実行中の場合、ロボットが終了するのを待つのが非常に煩わしい • リモートデスクトップの利用ができないため、リモートワークで利用できない • 支社にてロボットを利用する場合、申請等の実施が必要のため非効率である
解決したいこと	• ロボット起動における不要な手順は排除し、簡単に利用できる仕組みとしたい • 待ち時間をなくすため、RPAツールへ連続起動リクエストができる仕組みとしたい • 本社・支社・社外であっても権限者であればRPAを自由に起動したい。 • 一部ロボットは条件起動（システムログイン情報の設定）する必要があるため、リモート起動する場合でも条件設定を可能にしたい。 • 機密性の高いデータを扱っているロボットがあるため、従来通りセキュリティルーム設置のままとし、ロボット利用ログは管理できる仕組みとしたい

dArwIn RPA Controllerを導入することで上記課題を解決。
本社・支社・社外の利用を可能にするだけでなく、ロボット起動手順を標準化し効率化とすることにより、RPAツール利用頻度が従来比20%アップし、生産性の更なる向上に成功。



導入費用

dARCは、サブスクリプションモデルとは異なり、買い切りライセンスとなります。
導入にはライセンス費用と初期設定費用が必要です。ロボットの数に応じてライセンスの数が変動します。

ライセンス費用（買い切り）
10万円(税抜) / 1ロボット
※7

- dARCを利用するためのライセンス費用です。
- dARCを利用して起動するロボット数に応じて必要なライセンス数が決定されます。
- ライセンス費用には以下作業も含まれます。
  ① RPAインストール端末へのdARC設定
  ② リモート起動端末用のdARCの作成
  ③ 条件起動が必要なロボットの改修（必要時）

＋

初期設定費用
30万円(税抜)/一律

- dARC導入時に必要な既存RPAの構成、利用環境のヒアリング及びヒアリング内容に応じたdARCの設計および共通的な設定を行います。

※7 ロボットの廃止に伴うライセンスの付け替えはできません。新規ロボットを設定する場合は、新たにライセンスを購入頂く必要があります。

導入アプローチ

dARCはご契約（作業着手）から最短1週間で利用開始が可能です。

最短
1週間

ご契約 （貴社/ZEIN）	• 契約締結（作業着手、ライセンス手配）
環境調査 （貴社/ZEIN）	• dARC導入時に必要な環境情報のヒアリング
導入準備 （貴社）	• RPAコントロール用メールアドレスの手配
初期設定/ dARC導入作業 （ZEIN）	• 初期設定作業（ヒアリング、設計、共通設定） • RPAインストール端末へのdARC設定 • リモート起動端末用のdARCの作成 • 条件起動が必要なロボットの改修（必要時）
dARC配布 （貴社）	• リモート起動端末用のdARCの配布
起動テスト （ZEIN）	• dARCによるロボット起動確認テスト

ZEIN株式会社　https://zein.jp
〒104-0041東京都中央区新富1-8-9　THE GATE GINZA EAST 6F
TEL：03-6280-4548
FAX：03-6280-4549